

## 地対協コーナー

広島県における脳卒中对策の取り組みのポイントはご存知でしょうか？

そのポイントは、発症後、早い段階で急性期専門治療を受けることができる体制を構築するとともに、県内共通版クリティカルパスの普及や脳卒中患者の実態把握などによる地域連携体制を促進することにあります。

平成21年度に、地対協では県内共通版のパスを作成し、県内での運用を促進してきましたが、7年が経過した今年、急性期から回復期・維持期のどの立場でもより使いやすいものとなるよう改版に向けた協議を行っています。

本県の脳血管疾患による死因は第4位（平成26年度広島県人口動態統計より）ですが、健診の受診率等は全国平均と比べ、低い現状ですので、脳卒中発症の予防に向け、生活習慣の改善や特定健診の受診勧奨など、日常診療の合間に患者さんへの声かけをお願いできればと思います。

皆さまのご要望やご意見などがございましたら、遠慮なく、事務局までお寄せください。また、過去の委員会活動などは、地対協ホームページ（<http://www.citaikyo.jp/>）へ掲載していますので、アクセスをお待ちしております。

### ○脳卒中連携パス回復期以降検討WG

日時：平成28年7月19日（火） 19時00分

場所：広島県医師会館701会議室

WG長：栗栖 薫

医療体制検討専門委員会内に本WGを設置し、広島県共通の脳卒中連携パスの改版に向け、回復期・維持期の項目について、多職種（介護支援専門員、訪問看護、リハビリテーション、地域包括支援センターなど）から意見を求めるべく標記WGを開催した。

#### 協議事項

##### (1) 脳卒中連携パスの改版について

現行のパスについて意見を求めたところ、全体を見通したサマリーが詳しく記載されていない、患者がパスを持参しない、言葉が難しく理解できないものがあるといった意見が寄せられた。

また、改版に向け、治療や支援にあたり、家族の理解が得られないことがあるため、家族等へも説明ができる内容としてほしい。維持期に関わる関係職種にとって役立つ情報にすべきといった要望が出た。

その他、項目については、急性期が出したい情報と回復期が欲しい情報に少し乖離がある。全体的に項目を絞りシンプルにすべきである。認知症の状態、生活支援に必要な情報の項目も必要ではないかといった意見もあった。

### ○第2回脳卒中連携パスWG

日時：平成28年7月27日（水） 19時00分

場所：広島県医師会館401会議室

WG長：栗栖 薫

7月19日（火）に開催した「脳卒中連携パス回復期以降検討WG」での議論を踏まえ、脳卒中連携パスの改版について協議した。今後は、現行のパスを使用している委員がたたき台（案）を作成し、それを基に協議していく予定とした。

#### 報告・協議事項

##### (1) 回復期以降検討WGについて

7月19日（火）開催のWGの意見などについて事務局より説明後、豊田委員より呉地域で開催された脳卒中パスの再考に向けたグループワークについて報告があった。

グループワークでは、ADL状況の詳細が必要、個人情報（本人・家族）が必要、高次脳機能評価について、リスク管理などの意見がまとめられた。

##### (2) 広島県共通 脳卒中連携パスの見直しについて

各委員より、さまざまな意見が出たが、協議の結果、急性期から回復期にかけては出来るだけ項目を絞り込む。発症前のことを急性期で分かりやすく入れる。評価に関してはFIMで比較、検討標準化が出来るようにする方針とする。維持期に関しては、回復期以降検討WGの意見を取り込み、自由記載も可能な形にする方針とし、次回WGまでにたたき台（案）を示し具体的な協議をする予定とした。